

# は じ め に

平成 26 年度は、「滋賀県基本構想」と「滋賀県行財政改革方針」に基づく計画期間の最終年度であり、「住み心地日本一の滋賀」の実現に向けた仕上げの年として予算編成に取り組みました。

平成 26 年度当初予算の規模は、平成 25 年の台風 18 号による被害の復旧に全力で取り組むとともに、防災対策として危機管理センターの整備や県立学校、警察署等の耐震対策を着実に推進するほか、4月からの消費税および地方消費税の税率引上げに備えるため、国の「好循環実現のための経済対策」に呼応し、経済対策の効果が早期に発現できるよう公共投資の増大などに努めたことから、2 年連続して前年度当初予算を上回り、7 年ぶりに 5,000 億円台となりました。

また、平成 26 年度当初予算における財源不足額は、経済情勢等を踏まえた県税の見通しや、国の地方財政対策等により、行財政改革方針の見込額から縮小したものの、なお、127 億円の不足となりました。

このため、行財政改革方針に基づく事業見直しや内部事務経費などの歳出縮減に取り組むとともに、それでもなお解消できない財源不足については、財源調整のための基金の取り崩し等で対応することとし、また、財政健全化を図る観点から、財源対策的な県債の発行を行わないこととした結果、財政の健全性を示すプライマリーバランスは、6 年ぶりにプラスに転じています。

さらに、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、最少の経費で最大の効果が得られるよう、部局の枠にとらわれない横断的な視点に立ち、関係部局が共通の目標を持って緊密な連携を図るなど、組織の持てる力を最大限に発揮できるように努めたところです。

この財政事情は、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを県民の皆さんに広く知っていただくため、年 2 回(5 月と 11 月)定期的に公表しているものです。

今回は平成 26 年度予算の概要、平成 25 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

# 目 次

## I 滋賀県財政の動向

---

1 経年変化で見る滋賀県財政の状況	1
2 財政指標から見た滋賀県財政	10
3 財政健全化に向けた取り組み	12

## II 一般会計および特別会計の状況

---

1 平成 26 年度予算の概要	15
(1) 当初予算編成の背景	15
(2) 当初予算編成の基本方針	16
(3) 当初予算の規模等	17
(4) 当初予算のポイント	20
(5) 一般会計当初予算の内容	27
(6) 特別会計当初予算の状況	35
2 平成 25 年度下半期の財政状況	36
3 収益事業の経営状況	40

## III 公営企業の業務状況

---

1 病院事業の業務状況	41
2 工業用水道事業の業務状況	45
3 水道用水供給事業の業務状況	49

## IV 健全化判断比率および資金不足比率の概要

---

1 健全化判断比率および資金不足比率の概要	54
-----------------------	----

付 表	57
-----	----

---